

令和5年度 事業方針の概要（全体像）

長期ビジョン
(2019~2025)

第二期経営健全化計画
(2022~2025)

(中・長期共通)
計画の基本理念
< 4つの柱 >

- 不断の改革・改善 ⇒ 収益確保・費用削減等の自助努力を着実に実行
- 地域との協働 ⇒ 行政との協働による地域医療の確保
- 患者本位 ⇒ 安全・安心な医療の提供に向けた療養環境の整備
- 職員重視 ⇒ 勤務環境の改善、職員の経営意識の向上

令和5年度計画策定
【重点課題】

中期計画を基本に
昨今の情勢を的確
に反映

入院診療への注力
と外来機能分化・
医療介護連携

業務改善・効率化
の着実な実践

I 策定方針

- ① 昨年度策定した「第二期経営健全化計画」をベースに、昨今の社会情勢等を的確に捉えたうえで単年度計画に反映させるとともに、目指すべき運営体制と今後の事業運営のあり方を見据えたうえで、具体的な取組みを盛り込む。
- ② 地域の拠点病院として求められる入院機能への注力のため、実効性ある外来機能分化が進められるよう、自院の診療機能分析に基づいた戦略的な施策に取り組んでいくとともに、近隣施設との医療連携・介護連携についてより一層の強化を図る。
- ③ 令和4年度より重点的に進めている業務改善・効率化の取組みを着実に実践し、その効果を「患者数規模に見合った体制の構築」に確実に繋げていく。

1. 健全な経営・財務基盤の確立

(1) 経営の健全化

- ① 事業損益ベースでの利益確保
- ② 入院診療の充実と人員配置の適正化
- ③ 不採算医療への財政支援の要請

(2) 効率的な業務執行体制の構築

- ① 職員の適正配置
- ② 業務改善・効率化の推進
- ③ 効果的な外部委託の推進

(3) 収益確保対策

- ① 診療報酬の確保
- ② 地域医療・介護連携の推進
- ③ 効率的な急性期医療の提供

(4) 費用適正化対策

- ① 職員の適正配置（再掲）
- ② 事業経費の適正化

(5) 施設・設備の効率的な整備

- ① 長期的な視点に立った計画的投資
- ② 施設の老朽化対策
- ③ 医療機器等の設備整備
- ④ 効果的なシステム導入と更新

II 事業方針

2. 地域医療構想を見据えた医療提供体制の見直し

(1) 機能分化と地域医療連携の推進

- 診療科目の整理を含めた医療機能の集約化・分化に関する協議
- 医療機器・検査機器の重点配備・共同利用による検査機能の集約化・分化

(2) 病床の機能・規模の適正化

- 急性期医療中心に、回復期機能を併せ持った切れ目のない医療提供体制
- 医療需要推計を踏まえた効率的な病棟運営

(3) 外来機能の分化促進

- 外来機能の高度・専門化
- 将来的な紹介受診重点医療機関の指定に向けた取組み
- 再来患者の逆紹介と外来新患者の向上

(4) 地域医療のあり方・方向性の提言

- 地域医療構想以後の医療提供体制を見据え、持続可能な地域医療のあり方や方向性の提言

3. 患者の視点に立った魅力ある病院づくり

(1) 安全で安心な診療体制の構築

- ① 感染症対策の徹底
- ② 医療安全管理体制、褥瘡対策、栄養管理体制の充実
- ③ 情報セキュリティ対策

(2) 患者サービスの向上

- 接遇の意識向上とレベルアップ
- 患者ニーズの的確な把握による快適な療養環境の整備
- 人間ドック・健(検)診等のWeb予約の環境構築

4. 働きがいのある職場環境づくり

(1) 医療従事者の確保

- 養成校や学生へのPR活動の強化
- 奨学金対象職種拡大のPR活動と奨学生の確保
- 補助者等へのタスクシフトの推進

(2) 勤務環境の整備

- 安心して働き続けられる職場環境の整備
- 医師の労働時間上限規制に向けた対応

(3) 医療を担う人材育成と技術向上

- マネジメント教育プログラムの実施による教育研修体系の標準化
- eラーニング研修コンテンツの積極的な視聴の促進

(4) 職員満足度の向上

- 職員提案箱の設置運用による職員意見・提案の吸い上げ
- コロナ禍における職員のメンタルケアや差別・偏見への対処

5. 保健予防活動及び高齢者福祉活動の推進

(1) 健康管理活動の充実

- 生活習慣病予防対策の充実や検診受診率の向上
- 人間ドック・健(検)診等のWeb予約の環境構築（再掲）

(2) 高齢者福祉事業の取組み

- 訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所の効果的な運営
- 訪問看護事業の持続的に運営可能な対応策の検討